

令和2年度
春季号



「沖縄交通遺児を励ます会」設立を報じた記事(1971年7月14日付、琉球新報)

奨学・育成金

対象者	支給額(毎年)
小学生	48,000円
中学生	54,000円
高校生	96,000円
専門学校生	120,000円
大学生	240,000円

激励金

対象者	支給額
小学校入学	15,000円
中学校入学	20,000円
中学校卒業	20,000円

入学時及び卒業時には激励金が贈られます。

見舞金

対象者	支給額
小学生	30,000円
中学生	30,000円
高校生	30,000円

年度内に交通遺児となった児童・生徒へお見舞金が贈られます。

な ん ぶ う

南風

発行
公益財団法人
沖縄県交通遺児育成会

〒900-0027
沖縄県那覇市山下町18番26号
山下市街地住宅2階B-211号室

電話 (098) 987-0743
FAX (098) 987-0744
<http://okiko-iku.com>

今年7月に育成会創立50周年

交通遺児への支援に感謝

明けましておめでとうございます。2021年はコロナ禍のさなかのスタートとなりました。経済状況も厳しい中、昨年から多くのご寄付を賜りました。誠にありがとうございます。

沖縄県交通遺児育成会は今年7月13日に創立50周年を迎えます。

本土復帰前の1971年(昭和46)7月、那覇青年会議所と琉球新報社の呼びかけて設立された「沖縄交通遺児を励ます会」が当育成会の始まりです。当時は第一次交通

会(昭和46)年7月、那覇青年会議所と琉球新報社の呼びかけて設立された「沖縄交通遺児を励ます会」が当育成会の始まりです。当時は第一次交通

戦争と呼ばれ、交通遺児に社会の注目が集まりはじめた時代で、全国的にも珍しい地方単位の支援団体が発足しました。「励

ます会」は交通遺児救援基金造成の募金活動を開きました。

1979年3月、「励ます会」を発展解消し、法人沖縄県交通遺児育成会が設立されました。

翌1980年、第1回の「財団法人沖縄県交通遺児育成会」が設立されました。

1989年には県から特定公益増進法人の認定を受け、寄付金への税減

免が認められました。さらに公益法人制度改革に伴い、2011年に県知事より公益財団法人の認定を受けました。

これまで県内を中心に企業団体、個人から多くの净財が寄せられました。交通遺児支援チャリティー事業の収益金、毎年継続いたしている職場募金、事業所店舗などに設置いただいているボックス募金、学校募

金、賛助員寄付、匿名個

金は延べ7107人の子どもたちに4億4259万6500円を給付する

までに奨学・育成金を給付しました。

これまでに奨学・育成金は延べ7107人の子どもたちに4億4259万6500円を給付する

ことができました。奨学・育成金を含めた総給付額は4億6410万1500円に上ります。

これまでに奨学・育成金を含めた総給付額は4億6410万1500円に上ります。

これまでに奨学・育成金を含めた総給付額は4億6410万1500円に上ります。

人の寄付など多岐にわたります。

奨学・育成金の給付

入学卒業時の激励金、交

育成金のほか、見舞金、

入流派遣事業へのリーダー

沖縄県交通遺児育成会の給付金

当育成会は交通事故で保護者が死亡、または後遺障害を負ったご家庭の子どもたちへ学業支援を行つており、認定される

と次のような給付金が受けられます。

願い申し上げます。

当育成会は交通事故で保護者が死亡、または後

遺障害を負ったご家庭の

子どもたちへ学業支援を行つており、認定される

と次のような給付金が受けられます。

願い申し上げます。

当育成会は交通事故で保護者が死亡、または後

遺障害を負ったご家庭の

子どもたちへ学業支援を行つており、認定される

と次のような給付金が受けられます。



「選択した道を自信をもって歩んで」 中学卒業の5人に激励メッセージ送る

令和2年度の育成金給付認定を受け、今春、中学校を卒業する4校、5人の生徒に対し、玻名城泰山育成会理事長からの激励文を届け、励ました。

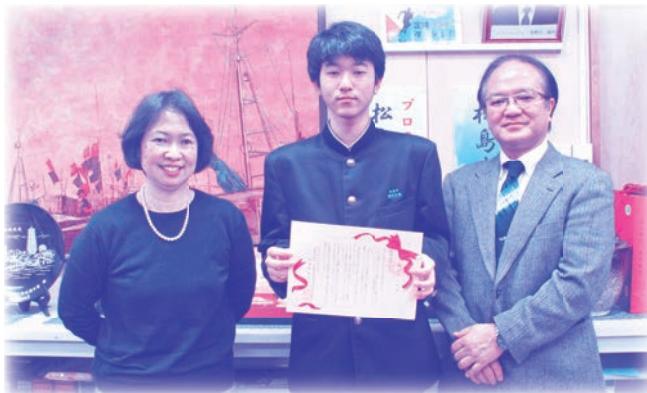
1月25日に那覇市立松島中学校（上江田賢也校長）、26日に中城村立中城中学校（安田智校長）を伊元清事務局長が訪問し、「今後も周りへの感謝の気持ちを忘れることなく、自ら選択した道を自信をもって歩いていってください」とのメッセージ文を読み上げ生徒に手渡しました。

夢・抱負

サッカーをずっと続けてきたが、中3はケガで思うような練習ができなかつたのが残念。これまで勉強はあまり好きでなかつたが、高校に入ったら勉強を頑張りたいです。

夢・抱負

高校は国際関係の学科に進み、海外留学をしたいです。さらに英語を学べる大学への進学が希望で、いずれは英語力を活かした仕事に就くことが夢です。



✿ 松島中学校 ✿



✿ 中城中学校 ✿

訂正 ■
第93号4頁「交通遺児枠で10人に奨学生 儀間教育振興会が県外進学者などに」の記事で、数字等に間違いがありました。正しくは「当育成会推薦で同振興会の奨学生が給付された学生は、1993年から28年間で322人、給付総額7454万円」でした。お詫びして訂正いたします。



那覇市医師会の第20回チャリティー写真展
= 10月20日、那覇市民ギャラリー

会場入り口に設置された募金ボックス

那覇市医師会（山城千秋会長）は10月20日から25日までの日程で、交通遺児育成基金造成「第20回チャリティー写真展」を那覇市民ギャラリー（パレットくもじ6階）で開催した。
写真展には仕事の合間や旅行先で医師会会員が撮影した力作118点が展示された。来場者はマスク姿でじっくりと作品を観賞していた。会場入り口には交通遺児支援の募金ボックスも設置された。
那覇市医師会は2001年からチャリティー写真展を開催し、作品の売上金を当育成会に寄付している。今年は8月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため10月に延期した。第20回を記念して、12月に行われた寄付金贈呈の席で、当育成会の玻名城泰山理事長から感謝状が贈呈された。（6頁に関連）

◆ 那覇市医師会写真展 ◆

建築関連11社で構成する県
営南風原第一団地建替工事
(第2期) 施工協力会は1月
19日、育成会事務局を訪れ、
各社や作業員からの募金25万
円を寄付した。代表の金城辰
朗さん(写真右から2人目)
は「施工各社と話し合い、交
通遺児たちが勉強に励めるよ
うに募金することになった」
と寄付金を託した。

「勉強に励めるよう」と25万円
南風原第二団地建替工事協力会

目）らば、一交通、六に向むかひどもあり死亡事故件数は減少傾向ではあるが、コロナ禍の中、交通遺児たちの生活の大変さは変わらない。支援のためぜひ有効に使っていただき

マンション建設販売などを手掛ける恵和興産（友寄隆文社長）は10月2日、100万円を寄付した。島袋元専務（写真左）、政岡玄章取締役（同2人目）らと琉球新報社を訪れた友寄社長（同3人）

初寄付

「遺児支援のため有効に使って」
恵和興産が100万円寄付

たい」と述べた。玻名城泰山理事長は「子ども達がしつかり学び、巣立つていけるよう頑張りたい」とお礼を述べた。



★ 保護者からのお礼 ★

「宣野座村・Iさん」のメール

子供たちからの誕生日に号泣

こんにちは、ご無沙汰しています。

今年度の奨学育成金受け取りました。ありがとうございます。

長男は、3年間の保育実習を終了して就職活動中です。希望の保育所に就職できるか親もヒヤヒヤです。長女は部活動でマネージャーをしており、帰りはバスで夜9時前の帰宅になりますが、何一つ愚痴など言わず頑張っています。私の誕生日には、子供たちから手作りのお手紙などをもらい、朝から号泣です。また1年間のスタート、お弁当作りや送迎、仕事を頑張っています。いつも、皆様のお心遣いに感謝申し上げます。

(2020年11月)

長男の保育所就職が内定

あけましておめでとうございます。昨年は、皆様お世話になりありがとうございました。昨年12月に長男が念願の保育所へ内定が決まりました。長男は真っ先にお仏壇の父親に一品料理を手作りしてお供え。亡き父親もボランティア活動・子供好き、こんなにまで似るのかと思い出しては涙が溢れ・・・。

年末は肩の荷があり、気持ちよく年末年始を迎えることができました。今年もよろしくお願いします。

(2021 年 1 月)

継続団体・個人

**チャリティーゴルフを開催
県レンタカー協会が24万3000円**

贈呈した。同協会からの寄付は21回目で総額416万円余りに上る。

県レンタカー協会（白石武博会長）は、交通遺児チャリティーゴルフ参加者からの寄付金24万3000円を寄付した。10月9日、名護市のカヌチャゴルフクラブで開催した「第19回レンタカーの日チャリティーゴルフ大会」会場で白石会長（写真左）は「自動車を使っている業界として今後も交通遺児支援を継続していきたい」と述べ、寄付金を

「継続して支援していきたい」

寄付金を託した。

県卸商業団地協同組合が20万円



（嘉手川彦会長）は11月7日、うるま市のイオン具志川屋上特設展示場で10万円を寄付した。同グループは2020年から中古車合同フェアを開催するたびに寄付を行っており、4回目、総額40万円になる。寄付金は昭南自動車商会の沖茂昭社長（写真前列左）が贈呈した。

**「子どもたちに役立てて
沖縄しまで協会が30万円**

沖縄しまで協会（木下誠也理事長）の喜舎場正秀理事（写真中央）と眞栄里浩輝企画課長（写真左）は12月2日、琉球新報社を訪れ30万円を寄付した。同協会の寄付は35回目で、総額1370万円になる。喜舎場理事は「国道整備事業などに関わっており交通事故の防止は大切なことだと考えている。事故に遭われた家族の子どもたちのため役立てていただきたい」と寄付金を託した。玻名城泰山理事長は「継続してご寄付いただきありがとうございます。大切に使いたい」とお礼を述べた。



**JUMPグループが10万円
中古車合同フェア開催で寄付**

中古車販売10社加盟のJUMPグループ（又吉盛治代表）は11月7日、うるま市のイオン具志川屋上特設展示場で10万円を寄付した。同グループは2020年から中古車合同フェアを開催するたびに寄付を行っており、4回目、総額40万円になる。寄付金は昭南自動車商会の沖茂昭社長（写真前列左）が贈呈した。

**洗車キャンペーん収益から10万円
県石油商業組合青年部会が寄付**

（嘉手川彦会長）は11月12日、八重瀬町の同組合でチャリティーウォーク洗車キャンペーんの収益金から10万円を寄付した。嘉手川彦会長（写真前列中央）は「交通遺児チャリティーウォーク洗車キャンペーんがお客様にも浸透している。今後も継続していきたい」と述べた。同組合青年部会からの寄付は14回目、総額は159万円余。





「立派な社会人に」とスマートグリッドホーム
100万円
再生エネルギー事業を展開するスマートグリッドホーム（東京都、三宅邦夫社長）は12月20日、那覇市久茂地の同社沖縄支店で100万円を寄付した。同社からの寄付は2018年の1000万円を合わせ、総額1141万2200円になる。三宅社長（写真左）は「沖縄が好きで若い時から事業をしている。生活に困っている子どもたちを何か支援したい。立派な社会人に成長することを期待する」と寄付金を託した。

丸徳ガス産業（上原貴行社長）の上原信行会長（写真右）と賀数佐代子部長（同左）は12月15日、育成会事務局を訪れ、社員募金6万51円を寄付した。同社は大型の瓶を社内に常に設置し、交通遺児チャリティーモニターニングを寄付した。募金寄付は20回目、総額148万7857円。上原会長は「社員に良いことがあれば幸せを分かち合う気持ちで募金するよう呼び掛けています。少ないですが交通遺児のため中止となつた。しかし、ありがたいことに会員から例年以上の净財が集まつた。今後とも遺児たちの支援をしてください」と寄付金を託した。

コロナ禍の遺児たちに10万円寄付
県個人タクシー事業協同組合



ためには使つてください」と話した。
丸徳ガス産業（上原貴行社長）の上原信行会長（写真右）と賀数佐代子部長（同左）は12月15日、育成会事務局を訪れ、社員募金6万51円を寄付した。同社は大型の瓶を社内に常に設置し、交通遺児チャリティーモニターニングを寄付した。募金寄付は20回目、総額148万7857円。上原会長は「社員に良いことがあれば幸せを分かち合う気持ちで募金するよう呼び掛けています。少ないですが交通遺児のため中止となつた。しかし、ありがたいことに会員から例年以上の净財が集まつた。今後とも遺児たちの支援をしてください」と寄付金を託した。



ためには使つてください」と話した。
丸徳ガス産業（上原貴行社長）の上原信行会長（写真右）と賀数佐代子部長（同左）は12月15日、育成会事務局を訪れ、社員募金6万51円を寄付した。同社は大型の瓶を社内に常に設置し、交通遺児チャリティーモニターニングを寄付した。募金寄付は20回目、総額148万7857円。上原会長は「社員に良いことがあれば幸せを分かち合う気持ちで募金するよう呼び掛けています。少ないですが交通遺児のため中止となつた。しかし、ありがたいことに会員から例年以上の净財が集まつた。今後とも遺児たちの支援をしてください」と寄付金を託した。



県トラック協会（佐次田朗会長）は12月16日、那覇市港町の同協会で32万4000円を寄付した。寄付は26回目で総額908万8995円。佐次田会長（写真左）は「毎年『トラックの日』に合わせて交通遺児育成基金のためのチャリティーゴルフを開催しているが、今年は新型コロナのため中止となつた。しかし、ありがたいことに会員から例年以上の净財が集まつた。今後とも遺児たちの支援をしてください」と寄付金を託した。



琉球ダイハツ販売（加藤憲志社長）は1月22日、琉球ゴールデンキングス公式戦の観戦チケット60枚を寄贈した。同社はキンギスのトップオフィシャルパートナーで、チケットは2月と3月開催の2試合分、各30枚。キンギス観戦チケットの寄贈は2017年から5回目。浦添市城間の同社で行われた贈呈式で加藤社長（写真右）は「自動車を生業にしている会社として、遺児の皆さんには少しでも元気になつてもらいたい。これからもできることは協力したい」と述べた。

琉球ダイハツ販売（加藤憲志社長）は1月22日、琉球ゴールデンキングス公式戦の観戦チケット60枚を寄贈した。同社はキンギスのトップオフィシャルパートナーで、チケットは2月と3月開催の2試合分、各30枚。キンギス観戦チケットの寄贈は2017年から5回目。浦添市城間の同社で行われた贈呈式で加藤社長（写真右）は「自動車を生業にしている会社として、遺児の皆さんには少しでも元気になつてもらいたい。これからもできることは協力したい」と述べた。

**子どもたち応援に2万6800円
タクシー乗務員の西協力会**

タクシー乗務員の親睦団体、西協力会（新垣敏克会長）は12月22日、育成会事務局を訪れ、会員から集めた2万6800円を寄付した。同会の寄付は19回目、総額66万8600円。会員の津波英明さん（写真左）は「少ない額だが、子どもたちに頑張つてほしい」と寄付金を託した。



**「今後も継続して支援」
JU沖縄が25万円寄付**

県中古自動車販売協会（JU沖縄、幸喜洋三会長）は12月25日、北中城村荻道のJU沖縄会館で、会員から集めた25万円を寄付した。同協会の寄付は45回目、総額823万7000円。幸喜会長（写真中央）は「自動車を販売している業界として、交通遺児支援は責務と考えている。社会貢献として今後も継続していきたい」と述べた。



**「継続して遺児たちを支援」
専心池坊琉球支部が5万円**

専心池坊琉球支部（翁長光泉支部長）は12月23日、5万円を寄付した。同支部の寄付は1979年から39回目、総額375万円。育成会事務局を山城春子副支部長（写真右から3人目）、我喜屋香教授者会会長（同右）らと訪れた翁長支部長（同右から2人目）は「継続して少しでも遺児たちを支援したい」と話した。

**写真展売上金など寄付
那覇市医師会が46万8923円**

那覇市医師会（山城千秋会長）は12月23日、10月に開催した交通遺児育成基金造成第20回チャリティーウィンドウ写真展の売上金と募金、会員からの寄付を合わせた46万8923円を贈った。同医師会からの寄付は20回目、総額538万7427円。外間英之理事（写真左）と琉球新報社を訪れた山城会長（同中央）は「新型コロナの影響で開催が危ぶまれたが、コロナ禍の今こそ撮れる写真作品もあった。交通遺児や家族のため役立ててほしい」と寄付を託した。



**「交通遺児を応援」
沖縄出光会が5万5963円**

沖縄出光会（濱元清会長）は12月23日、ガソリンスタンド設置の募金BOXと会員の寄付金を合わせた5万5963円。育成会事務局を沖縄出光の松田豊社長（写真左）と訪れた濱元会長（同右）は「車への給油を業務としており、交通遺児への応援を続けたい」と寄付金を託した。





**「事故のない社会目指す」
県自動車販売協会が30万円**

県自動車販売協会（野原朝昌会長）は12月24日、琉球新報社を訪れ30万円を寄付した。同協会は1977年から毎年寄付しており今回44回目、総額1560万円になる。平良幸生専務理事（写真左）と野原会長（写真中央）は「車を売る業界として事故により不幸なご家庭が生み出されるのは忍びない。安全性を高めて事故のない社会を目指したい。遺児たちのために役立ててください」と寄付金を託した。

**丸真産業一部から6万円寄付
丸真産業のパチンコ3店舗**

丸真産業（當眞嗣正社長）の系列3パチンコ店は1月12日、利用者の景品代からの寄付金を各店舗2万円、計6万円寄付した。同社からの寄付は4回目、総額20万6000円。マルシンV1店の松田芳仁店長（写真右）、V4店の仲順直也店長（同中央）、V3店の仲宗根康幸店長（同左）が育成会事務局を訪れ、「コロナ禍の厳しい状況だが、お客様に継続して寄付していただいた」と寄付金を託した。



**「勉強に励めるように
比嘉美恵子さんが3万円**

読谷村の比嘉美恵子さん（写真左）は1月29日、育成会事務局を訪れ3万円を寄付した。宜野湾市役所を退職後、交通遺児たちのこと気かけ、寄付は今回で4回目。比嘉さんは「自分の子供も社会人となつた。交通遺児たちが勉強に励めるよう、わざかだが役立ててほしい」と笑顔で話した。

**景品代一部から6万円寄付
丸真産業のパチンコ3店舗**

愛泉保育園（妹尾正和園長）は1月19日、毎週の礼拜時やクリスマスの献金をまとめた3万円を寄付した。同園の寄付は36回目、総額166万5700円。那覇市安里の同園で、園児たちは「困っているお友達のために使いください」と声をそろえて献金を贈呈した（写真）。



**「困っているお友達のために
愛泉保育園が3万円寄付**

愛泉保育園（妹尾正和園長）は1月19日、毎週の礼拜時やクリスマスの献金をまとめた3万円を寄付した。同園の寄付は36回目、総額166万5700円。那覇市安里の同園で、園児たちは「困っているお友達のために使いください」と声をそろえて献金を贈呈した（写真）。

★寄附金・賛助会費等の振込口座

☆振込み期間：随时受付け（期間の定めなし）

☆振込み方法：下記金融機関窓口指定振込用紙使用

（※振込手数料が免除となっているため、当会指定の振込用紙はございません。）

口座名義人：公益財団法人 沖縄県交通遺児育成会

金融機関名	支店名	口座番号	金融機関名	支店名	口座番号
琉球銀行	県庁出張所	(普) 65052	コザ信用金庫	那覇支店	(普) 2000718
沖縄銀行	県庁出張所	(普) 890433	沖縄県労働金庫	県庁支店	(普) 2397339
沖縄海邦銀行	県庁内出張所	(普) 4689	沖縄県農業協同組合	本店	(普) 0002331

**新年明け7万円寄付
県宅地建物取引業協会**

県宅地建物取引業協会（知念聰会長）は1月15日、7万円を寄付した。同協会の寄付は15回目、総額221万9656円。例年、協会の新年賀詞交歓会の席で福祉団体への寄付贈呈を行つてゐるが、今年はコロナ禍のため交歓会が中止となり、銀行振り込みによる寄付となつた。

寄付協力者ご芳名

令和2(2020)年10月1日～令和3(2021)年1月31日

育成会では、募金ボックスを設置いただける協力事業所を募集しています。

団体寄附		
10月	(株)恵和興産	1,000,000
11月	JUMP グループ	100,000
	(一社)沖縄県レンタカー協会	243,000
	沖縄県石油商業組合青年部会	100,000
	匿名	30,000
12月	(一社)沖縄しまたて協会	300,000
	沖縄県卸商業団地協同組合	200,000
	(一社)那覇市医師会	144,000
	一水会	20,000
	(株)兼生	50,000
	(有)丸徳ガス産業	60,051
	(公社)沖縄県トラック協会	324,000
	富士ビル	30,000
	スマートグリッドホーム(株)	1,000,000
	沖縄県個人タクシー事業協同組合	100,000
	西協力会	26,800
	専心池坊琉球支部	50,000
	沖縄出光会	55,963
	(一社)日本自動車販売協会連合会沖縄県支部	
		300,000
賛助員寄附		
1月	チネンコウシン	2,524
	マエダマサヒロ	3,000
	宇保直人	3,000
	比嘉美恵子	30,000
学校寄附		
10月	平良初子	40,000
	花城和子	50,000
	平良光明	10,000
12月	なか事務所グループ	20,000
ボックス募金		
1月	沖縄市立山内小学校	9,500
個人寄附		
10月	(株)琉球銀行嘉手納支店	33,196
	(株)琉球銀行那覇空港内出張所	7,177
	タウンプラザかねひで牧港店	1,476
	タウンプラザかねひでパイプライン内間店	
		8,519
	タウンプラザかねひでよなばる市場	
		9,758
	マリンプラザかねひで東浜市場	9,272
	タウンプラザかねひで首里久場川市場	
		17,916
	タウンプラザかねひでにしのまち市場	
		9,051
	タウンプラザかねひで与儀公園市場	
		22,039
	タウンプラザかねひで東風平市場	5,430
	タウンプラザかねひで南風原市場	5,657
	タウンプラザかねひでいちゅまん市場	
		11,763
	金秀商事(株)	613
	(株)琉球銀行真嘉比支店	2,870
	石垣市役所平和協働推進課	32,329
	(株)琉球新報開発	6,902
	(株)琉球銀行大道支店	15,345
	那覇学院	1,138
	ハローエンジエル	19,821
受贈品寄付		
1月	琉球ダイハツ販売(株) 琉球ゴールデン キングス公式戦ご招待券 60 枚	

県民の支援の輪 善意ありがとうございました